

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県・たつの市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	たつの市文化遺産総合活用推進プラン		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「第1次たつの市総合計画」を踏まえた上で、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を総合的に活用して地域活性化を推進するため、下記の実施計画を実施する。また、実施期間中は、下記の実施計画を通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門家と地域住民とが協働したワークショップ（一部講演会）の実施 2. 地域の文化遺産を活用した体験型シンポジウムの開催 3. 古典の日及びたつの能楽普及啓発事業 4. 地域の文化遺産顕彰普及事業 5. 榎八幡神社神事獅子舞保存継承事業 6. 小五月祭「棹の歌」保存継承事業 7. 地域住民と協働による伝統的建造物と生活実態調査の実施 			
6 実施体制			
<p>たつの市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課・役割は下記のとおり。</p> <p>教育委員会教育事業部歴史文化財課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>たつの市の文化遺産を活かした地域活性化事業実行委員会（会長：八木 隆）</p> <p>構成団体（伝統文化体験教室を普及する会、榎八幡神社神事獅子舞保存会、伝統芸能体験教室を普及する会、龍野の文化遺産を生かす会、龍野地区まちづくり協議会、小五月祭「棹の歌」保存会、龍野町屋再生生活プロジェクト、公益財団法人霞城館）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 33,752 千円	平成29年度申請額： 11,634 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>龍野が生んだ近代詩人や哲学者がいたことを顕彰普及啓発することや、小五月祭（棹の歌）の保存継承が難しくなっている現状を打破すること等により、市民の地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、今後市民の力による地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。特にたつの市龍野地区歴史的景観形成地区としての歴史的価値や伝統的建造物と生活実態の調査やワークショップをする際に、団体等と住民等の保存会や行政による連携・協力体制が構築されたなかで「生きた城下町博物館都市龍野」をコンセプトとして学術的にまとめ、客観的に示すことにより、未来へのまちづくりの基本資料として活用することができる。その上、文化遺産である建造物を利用してシンポジウムやイベントを開催し、秋季例大祭等を盛りあげることで、観光客の増加に寄与することもできる。また、「世阿弥の母の里」と位置付けられているこの地で能や狂言等を開催することにより、伝統文化への意識高揚を図り、「古典の日」の普及啓発を推進することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	たつの市教育委員会歴史文化財課（文化財係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	文化遺産が所在する最寄駅 (本竜野駅) の乗降者数			関連事業 :	地域の文化遺産の記録・情報発信事業、龍野地区の町並み保存啓発・調査事業	
目標値 1 :	平成 28 年度 1,873 人/日 ⇒ 平成 33 年度 2,055 人/日					
設定根拠 1 :	平成27～28年度 J R 本竜野駅の乗降者数の伸び率1.019倍を参考として、毎年度の伸び率を1.019倍と設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	文化遺産が所在する最寄駅 (本竜野駅) の乗降者数			関連事業 :	地域の伝統的産業である皮革技術の伝承体験事業、郷土銘菓!うすくち醤油まんじゅう作りの食文化伝承体験事業、	
目標値 2 :	平成 28 年度 1,873 (人/日) ⇒ 平成 33 年度 2,055 (人/日)					
設定根拠 2 :	平成27～28年度 J R 本竜野駅の乗降者数の伸び率1.019倍を参考として、毎年度の伸び率を1.019倍と設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	
						化資源を活用した集
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	文化遺産が所在する最寄駅 (竜野駅) の乗降者数			関連事業 :	古典の日及び能楽普及啓発事業	
目標値 3 :	平成 28 年度 2,177 (人/日) ⇒ 平成 33 年度 2,207 (人/日)					
設定根拠 3 :	平成27～28年度 J R 竜野駅の乗降者数の伸び率1.003倍を参考として、毎年度の伸び率を1.003倍と設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	保存会 (小五月祭「棹」の歌保存会) への新規入会者数			関連事業 :	伝統文化継承基盤整備 後継者養成事業	
目標値 4 :	平成 28 年度 30 (人) ⇒ 平成 33 年度 35 (人)					
設定根拠 4 :	平成28年度までの毎年度平均伸び率0.5%を設定					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	

目標区分 5 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 5 :	地域の祭礼行事等への入込客数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 5 :	文化遺産が所在する東鶯崎駅の乗降者数			関連事業:	神岡の文化遺産総合活用推進事業	
目標値 5 :	平成 28 年度		463 人/日	⇒	平成 33 年度 483 人/日	
設定根拠 5 :	平成27～28年度 J R 東鶯崎駅の乗降者数の伸び率1.01倍を参考として、毎年度の伸び率を1.01倍と設定					
進捗状況 5 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	地域の文化遺産の記録・情報発信事業	実施団体：	龍野の文化遺産を生かす会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	(1) 地域の伝統的建造物の映像資料の新規制作と上映会の開催 (2) 地域の生活文化を記録する映像資料「オーラルヒストリー」の新規制作					
評価指標区分：	・制作映像の上映会等への貸し出し（又は利用）回数等			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	市の施設等での上映会(意見交換会)の開催回数					
目標値：	平成 29 年度		5 回	⇒	平成 33 年度	20 回
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	
事業②：	地域の伝統的産業である皮革技術の伝承体験事業	実施団体：	龍野の文化遺産を生かす会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	(1) 皮革技術の伝承体験ワークショップの開催 (2) 皮革の魅力についてのパネルディスカッションの開催					
評価指標区分：	・SNS上の情報発信の「いいね」の数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	ホームページに設置した「いいね」カウンターの「いいね」の数(年間総数) ※HPとfacebookのアドレス Tatsuno文化体験HP https://t-taiken.wixsite.com/tatsuno-b-taiken2017 Tatsuno文化体験Facebook https://m.facebook.com/Tatsuno%E6%96%87%E5%8C%96%E4%BD%93%E9%A8%93-1811065585575525/					
目標値：	平成 29 年度		500 回	⇒	平成 33 年度	2,000 回
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	
事業③：	郷土銘菓！うすくち醤油まんじゅう作りの食文化伝承体験事業	実施団体：	龍野の文化遺産を生かす会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	(1) うすくち醤油まんじゅう手作り体験教室の開催 (2) うすくち醤油の食文化についてのパネルディスカッションの開催					

評価指標区分：	・SNS上の情報発信の「いいね」の数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	ホームページに設置した「いいね」カウンターの「いいね」の数(年間総数) HPとfacebookのアドレス Tatsuno文化体験HP https://t-taiken.wixsite.com/tatsuno-b-taiken2017 Tatsuno文化体験Facebook https://m.facebook.com/Tatsuno%E6%96%87%E5%8C%96%E4%BD%93%E9%A8%93-1811065585575525/					
目標値：	平成 29 年度	300 回			⇒	平成 33 年度 1,200 回
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	回
事業④：	古典の日及び能楽普及啓発事業			実施団体：	伝統芸能体験教室を普及する会	
事業区分：	普及啓発			事業期間：	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	
事業概要：	(1) 能楽を楽しむ講演会及び演奏会、狂言プレ公演、古典の日レクチャーイベント等の開催 (2) 「古典の日 たつの能」の開催					
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	文化施設（アクアホール）の利用者数					
目標値：	平成 28 年度	1,700 人			⇒	平成 33 年度 2,500 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	人
事業⑤：	龍野地区の町並み保存啓発・調査事業			実施団体：	龍野地区まちづくり協議会	
事業区分：	普及啓発			事業期間：	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	
事業概要：	専門家と地域住民とが協働したワークショップ等の実施					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	龍野地区まちづくり協議会への新規入会者数					
目標値：	平成 28 年度	5 人			⇒	平成 33 年度 15 人

